

NEWS RELEASE

各位

取材依頼

2023年9月29日

ニッポンハム食の未来財団

2022年度研究助成事業の成果報告会を対面開催

開催日:10月10日(火) 場所:AP品川アネックス1階

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団(事務所:茨城県つくば市、理事長:井手 弘)は10月10日(火)、2022年度に実施した研究助成事業の成果報告会を開催いたします。

本研究助成は、当財団の主要事業の一つで、対象領域を「食物アレルギー」に特化しているのが最大の特徴です。有症率が年々増えているにも関わらず、根本的な治療法や予防法などが確立されていない現状を打開すること目指しています。

本報告会は、2022年度中に行われた助成研究に関するもので、第一部は16名の若手研究者から、第二部は6組の共同研究チームから最新の研究成果を発表いただきます。当財団はその問題の複雑さゆえに、「食物アレルギー」の解決には異分野(例. 医学と食品)や幅広い世代による協働が不可欠と考えています。よって、本報告会は研究成果の普及はもちろん、問題解決にあたる様々な立場の有志が一堂に会し、問題解決に向けた交流と議論を深める場として企画しています。

開催概要 (詳細は次ページ以降のプログラム参照)

■日時

2023年10月10日(火)

〈第一部〉個人研究助成 ポスター報告会 13時30分～14時30分

〈第二部〉共同研究助成 口頭成果報告会 15時00分～17時30分

〈第三部〉学術交流会 17時40分～19時15分

■会場

・AP品川アネックス1階 A+B ルーム等(JR品川駅 高輪口 徒歩3分、詳細は4ページ参照)

■報告内容

2022年度研究助成事業採択者による

ポスター発表(個人研究助成;16課題)及び口頭報告(共同研究助成;6課題)

■出席予定者

発表者(2022年度研究助成事業 共同・個人研究採択者)、過去の採択者、当財団関係者(評議員、監事、理事、事務局等)、研究助成審査委員、事前に申し込みのあった方、報道関係者等

◆公益財団法人ニッポンハム食の未来財団◆

食物アレルギー対策を加速させ、全ての方に「食べる喜び」を感じて欲しいという強い思いから、2015年1月に日本ハム株式会社により設立されました。2017年4月に、公益法人としての認定を受けて活動しています。研究助成事業の他、「食物アレルギー対応食 料理コンテスト」、「栄養士や保育者向けセミナー」、「Webを通じた情報発信」を行っています。

大変恐縮ですが、当日取材くださる方は、10月6日(金)までに  
4ページ目のFAX 返信用紙にてお申込みください。

※リリースに関する問い合わせ先

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 小泉・織田島まで

TEL 029-893-4466 FAX 029-893-4360

info@miraizaidan.or.jp

日時 : 2023年10月10日 (火) 13時30分から14時30分

場所 : AP品川アネックス1階 Dルーム

発表者 : 2022年度研究助成事業 個人研究採択者

コアタイム※ : 偶数演題番号13時30分~14時00分、奇数演題番号14時00分から14時30分

※発表者がポスター前で研究内容を発表、質疑応答する時間

演題番号	氏名	所属機関	課題名
01	赤川 翔平	関西医科大学 医学部 小児科学講座 講師	機能性大麦を用いた腸内細菌叢を標的とする新たな食物アレルギー治療法の開発
02	安藤 智暁	順天堂大学大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター 助教	経皮感作による食物アレルギー発症の新規病態機序の解明
03	伊藤 尚弘	福井大学医学部附属病院 総合産科産婦人科総合医療センター 特命助教	食物アレルギーのアウトグローにおける抗原特異的IgDの役割
04	井上 雅己	神戸学院大学 薬学部 助教	経口免疫寛容を強力に誘導する新規 Treg 標的バイオリジクスの創製
05	小谷 仁司	島根大学 医学部医学科 免疫学講座 講師	食物アレルギー予防・治療を目指した核内受容体リガンドによる制御性T細胞分化制御解析
06	佐藤 陽	医療創生大学 薬学部 衛生薬学部門 准教授	D-アミノ酸含有ビオチニル化ペプチドによる持続的な抗アナフィラキシー効果の検証
07	清水 裕	北海道大学大学院 水産科学研究院 技術専門職員	発酵を利用した低アレルゲン化エビ調味料開発の試み
08	中野 泰至	千葉大学医学部附属病院 小児科 助教	母乳中 micro RNA が食物アレルギー発症に及ぼす影響
09	中村 公亮	国立医薬品食品衛生研究所 食品部第五室 室長	加工食品の輸出拡大を目指したコーデックス指定アレルゲンならびにアレルゲン様化学物質の網羅的検出法の基盤的検討
10	野村 孝泰	名古屋市立大学大学院 医学研究科 新生児・小児医学 助教	胃食道逆流に注目した牛乳アレルギーモデルマウスの免疫機序の解明
11	田中 孝之	京都大学大学院医学研究科 客員研究員	鶏卵アレルギー小児の長期的観察による食物アレルギー寛容誘導機序の解明
12	深谷 知宏	宮崎大学 医学部 医学科 感染症学講座免疫学分野 助教	経口免疫寛容における粘膜組織樹状細胞と腸内細菌叢との相互作用の役割の解明
13	牧田 英士	自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科 講師	固形食物による消化管アレルギーの予後予測因子についての研究
14	三浦 陽子	独立行政法人国立病院機構 相模原病院 小児科 レジデント	LGG乳酸菌を併用して行う経口免疫療法の有効性を検証する研究
15	横大路 智治	広島大学大学院 医系科学研究科 (薬) 准教授	低アレルゲン化小麦の交差反応を利用した安全性の高い小麦アレルギーの予防法と治療法の開発
16	濱野 翔	杏林大学医学部附属病院 小児科学教室 助教	Food protein induced enterocolitis syndrome の診断における血清TARC値の有用性に関する研究

日 時 : 2023年10月10日(火) 15時00分から17時30分  
場 所 : AP品川アネックス1階 A+Bルーム  
発 表 者 : 2022年度研究助成事業 共同研究採択者

- 15:00 開会挨拶
- 15:10~15:30 唾液の次世代プロテオーム解析による、非侵襲的な食物蛋白誘発胃腸炎の診断・症状誘発予測マーカーの開発  
井上 祐三朗  
千葉大学大学院 医学研究院総合医科学 特任准教授
- 15:30~15:50 食物アレルギー児におけるレジリエンス尺度の開発  
今井 孝成  
昭和大学 医学部小児科学講座 教授
- 15:50~16:10 食品の味覚成分を利用した食物アレルギー制御法  
神沼 修  
広島大学原爆放射線医科学研究所 疾患モデル解析研究分野 教授
- 16:10~16:25 (休憩15分)
- 16:25~16:45 アレルゲンコンポーネントを活用した乳児期の食物アレルギー感作に関する研究  
佐藤 さくら  
国立病院機構相模原病院 臨床研究センター アレルギー性疾患研究部 部長
- 16:45~17:05 新規アレルギー抑制分子 Ly6G によるマスト細胞の機能制御と創薬への応用  
鈴木 亮  
金沢大学 医薬保健研究域 薬学系 教授
- 17:05~17:25 モデルマウスを用いた花粉-食物アレルギー症候群における経口免疫治療の確立と機序解明  
藤枝 重治  
福井大学学術研究院 医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 教授
- 17:25 閉会挨拶
- 17:30 写真撮影
- 17:40~19:15 《第三部 学術交流会》

【報告資料(両部共通)のWeb公開】

[https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/grants/2021/02\\_event.html](https://www.miraizaidan.or.jp/specialist/grants/2021/02_event.html)

※9月29日(金)10時より報告要旨を公開いたします。



FAX 029-893-4360

公益財団法人ニッポンハム食の未来財団 行き  
(問い合わせ先 TEL : 029-893-4466)

2022年度研究助成事業 成果報告会

日時 : 2023年10月10日(火) (受付 ; 1階 A+B ルーム前までお越しく下さい。)

場所 : AP品川アネックス (下図参照)

《第一部》	ポスター報告会 13:30~	いずれかに○印をお願いいたします。 ご出席 / ご欠席
《第二部》	口頭成果報告会 15:00~	いずれかに○印をお願いいたします。 ご出席 / ご欠席
《第三部》	学術交流会 18:00~	いずれかに○印をお願いいたします。 ご出席 / ご欠席

貴社名	
貴部署名	
お名前	
電話番号	
FAX番号	
E-mail	
備考(撮影の有無)	

(注1) 報告内容、データに関する写真撮影及び動画撮影は、固く禁止させていただきます。

(注2) 写真撮影は、「開会及び閉会挨拶」または「17時45分から予定している写真撮影」または「発表者及び当財団の承諾がある場合」に限らせていただきます。

会場案内図



【所在地・電話番号】

〒108-0074  
東京都港区高輪3丁目23-17  
品川センタービルディング1階・地下1階  
Tel : 03-5798-3109  
Fax : 03-5475-8109  
※「高輪口」から右手方向に約3分です

【交通アクセス】

東海道新幹線・JR東海道線・JR山手線・  
JR京浜東北線・JR横須賀線・京浜急行線をご利用の場合

「品川駅」より徒歩3分  
※羽田空港からは京浜急行快特で  
品川駅まで16分